

I 平成29年度 事業計画

1. 基本方針

日頃は当会の活動に多大なるご支援を賜りまことにありがとうございます。

平成27年度は沖縄県初の介助犬ペア誕生、また平成28年度においては岡山県初の介助犬誕生にむけ取り組んでおります。

身体障害者補助犬法の産みの親である橋本龍太郎元総理に、ゆかりの地、岡山で念願の介助犬誕生のご報告が出来ることを職員一同待ち望んでおります。今年で7回目となる「介助犬フェスタ2017」の中で行われます「感謝の集い2017」に足をお運び頂きますようお願い申し上げます。

また、新たな取り組みとして聖マリアンナ医科大学でのミカ（スタンダードプードルみ）による勤務犬としての動物介在療法は、多くのメディアや医療従事者からの関心を集めました。ミカに付添われて手術室に入るお子様の動画は、多くの医療従事者の意識を改革することに繋がると確信しております。未だ、医療機関における補助犬の受け入れが進まない中、同大学での取り組みを一つのモデルとして積極的に情報発信をして参る所存でございます。

また、長期療養型の病院である箱根病院ほか、熱心に動物介在療法・活動に取り組もうとしておられる医師や看護師、作業療法士からの問い合わせや研修の要望も相次いでおります。

昨年来の社会福祉法人制度改革に伴い、社会福祉法人には社会福祉事業だけでなく地域公益事業に取り組む使命が加わりました。素晴らしい一面を持ったミカとの出会いによって開眼された動物介在療法・活動への貢献を地域公益活動として、一つ一つ丁寧に組み込んでいき、人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざし活動して参ります。

今後とも、皆さまからのあたたかいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事長 大島慶久



(動物介在活動中のミカ)

介助犬フェスタ2017

日時:平成29年5月20日(土) 10:00~16:00

場所:愛・地球博記念公園(エコパ)地球市民交流センター(愛知県長久手市)

2. 取組事項

1. 介助犬訓練

リハビリテーション専門職と連携を図り、介助犬希望者に対して個々の障がいにあった介助犬を提供する。介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～に於ける体験・合同訓練および在宅訓練の指導を行う。

(1) 肢体不自由者に対する介助犬貸与

介助犬を育成し、2～4名の肢体不自由者に対し介助犬の貸与を実施する。

(2) 犬の飼育及び訓練

① 25頭の新規候補犬に対し、評価及び訓練を実施する。

② パピーに対する訓練及びパピーホームボランティアに対して飼育指導を行う。

(3) 繁殖、パピー、候補犬としての成犬の導入

① 繁殖犬4頭から20～25頭のパピーを確保する。また、国内外の補助犬育成団体より5～10頭のパピー及び成犬を購入する。

② オーストラリア、スウェーデン、ハワイ等の補助犬育成事業者から情報収集し、候補犬(成犬)導入のため訪問する。

(4) 介助犬使用者に対する継続指導

① 介助犬使用者25名に対し、継続指導を行う。

② 「使用者の集い」10月21日(土)、22日(日)に訓練センターにて開催し、使用者に対する勉強会を実施する。

使用者による引退式の企画、協会による開催を実施する。

(5) 介助犬使用者に対する就労支援

介助犬使用者の就労希望に対し、就労支援機関と連携を取りながら個々に合わせた就労支援を行う。

2. 人材育成・研修

訓練部職員の技術向上、合同訓練体制の確立に取り組む。また、外部研修等へ職員を派遣する。

(1) 訓練技術向上

飼育管理担当者、パピー担当者等のすべての訓練部職員がOJTにより犬のハンドリング技術の向上を目指す。また、目指すゴールの明確化、訓練犬の評価方法の共有化を図り、訓練技術向上に努める。

① 合同訓練担当者の育成

合同訓練を担える職員を1名養成する。

② 介助犬訓練士研修生の養成

第12期研修生3名に対し、介助犬の育成・普及活動に関わる人材として養成する。また第13期研修生を募集する。

(2) 研修

① リハビリテーションセンター(名古屋市・横浜市)への研修派遣

3. 相談・指導助言

介助犬希望者がより正確な情報を得られるように、体験会・相談会、体験入所等のプログラムの充実を図る。

(1) 介助犬希望者への更生相談

- ① 介助犬に関心のある障がい者を対象に、毎月の見学会に合わせて相談会を実施する。その他体験会(相談会同時開催)を年2回開催、見学会と体験会および体験入所の同時開催。
- ② 半年後に合同訓練開始候補者の方を対象に、4月と10月に体験入所を実施する。その他必要に応じて実施する。

4. 補助犬関係団体協力

良質な介助犬を育成するため、補助犬関係団体と訓練犬確保、繁殖情報の交換や繁殖協力関係の強化を図る。また、介助犬及び身体障害者補助犬法の認知度向上のため、情報機関等との連携を強化する。

(1) 補助犬育成団体との連携強化

日本盲導犬協会、北海道盲導犬協会、中部盲導犬協会、関西盲導犬協会、九州盲導犬協会、兵庫介助犬協会等との繁殖、子犬の導入、研修先としての協力関係を強化する。

(2) 諸外国の補助犬団体との連携強化

諸外国の補助犬団体と、介助犬の育成や繁殖事業に関する交流を充実させる。

- ① ADI(Assistance Dog International)の認定申請を行う。
- ② Kyno-Logisch(スウェーデンの盲導犬育成事業者)、Assistance Dogs of Hawaii(ハワイ)と犬の導入についての情報交換を行う。
- ③ 日本身体障害者補助犬学会への協力
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて「補助犬受け入れ/車椅子受け入れセミナー」開催への協力をする。

5. 調査研究

障がい者が介助犬等との生活をより円滑に送るための研究調査を行う。

(1) 各学会への参加、演題登録

- ① 日本身体障害者補助犬学会への参加、学会団体会員に加盟し一般演題発表を行う。
- ② 日本リハビリテーション医学会学術大会への演題登録
- ③ 日本福祉のまちづくり学会全国大会への演題登録

(2) リハ専門職等との補助具の開発

- ① 横浜市総合リハビリテーションセンター等のリハビリテーション工学士と介助犬使用に関する補助具の研究を行う。
- ② 愛知県立芸術大学デザイン科と利用者ニーズに合わせた補助具作成に係る相談・研究を行う。

(3) 肢体不自由者への更生相談

- ・ バリアフリー 2017 : 4月20日(木)~22日(土) 開催 (インテックス大阪)
- ・ ウェルフェア 2017 : 5月18日(木)~20日(土) 開催 (ポートメッセ名古屋)

- ・ ヨコハマヒューマンテックランド[®] 2017: 7月28日(金)～29日(土) 開催 (パシフィコ横浜)
- ・ 国際福祉機器展 2017: 9月27日(水)～29日(金) 開催 (国際展示場)

6. 地域公益活動

動物介在活動(AAA)・動物介在療法(AAT)への貢献

- (1) 動物介在療法として聖マリアンナ医科大学病院へ貸与した勤務犬についてハンドラー医師・看護師へのハンドリング指導を継続的に行う。
- (2) 障がい者、障がい児に対して、自宅で役立つキャリアチェンジ犬の譲渡を行う。
- (3) 長期療養患者、被虐待児童、社会適応障害児童等に対する AAA /AAT 導入に対する検討、監修および実施協力
- (4) 障がい者向けしつけ教室開催に向けての検討
- (5) 障がい児向けの犬とのふれあい会等の開催に向けて検討及び実施
- (6) 家庭犬飼育の質の向上を目指し、キャリアチェンジ犬引き取りボランティアに対して交流会を開催し、飼育指導を行う。

7. 普及啓発

介助犬および補助犬法の認知度が低いという課題に対して、対面での普及啓発を広く展開する。また、訓練犬受け入れについて交通機関、飲食店、店舗、ホテル等に交渉し、訓練犬受け入れについての理解を深める要請を広げる。

(1) 普及啓発イベント・講演会の開催

① 介助犬フェスタ 2017 の開催 5月20日(土)

介助犬への認知度向上および希望者・支援者の増加を目的として実施する。

② 地域に根ざしたイベントの開催

・介助犬総合訓練センター

一般見学会 : 原則毎月第2土曜日(5月、3月を除く)

子供向け見学会 : 7月26日(水)

オープンハウス : 3月3日(土)予定

団体見学受入れ等 : 年50件

・本部

介助犬夏休みイベント : 8月19日(土)予定

③ はたらくワンワンランドの開催

「ガンバレ！介助犬！JA共済はたらくワンワンランド」を通じて、全国で障がい者を支える介助犬を紹介する福祉教育活動を展開する。

④ リハビリテーション専門職向けセミナー の開催

リハビリテーション専門職へ向け、介助犬の正確な情報を提供し、理解を深めていただく機会としてセミナーを開催する。ブース設置可の学会との同時開催を図る。

⑤ イベント・講演会の受入れ

支援企業、小中学校はじめ各団体よりイベント・講演会の依頼を受け、職員・PR 犬の派遣を行う。

(2) 介助犬デモンストレーター養成の実施

「介助犬デモンストレーター養成講座」を開催し、介助犬普及・啓発活動を担うボランティアの養成を行う。

・センター： 初級 1 クール(7 月開催)、中級(毎月 1 回の中級セミナーの実施)

・本部： 個別での中級(練習)の実施、2 月初級 1 クールもしくは中級講座の実施

(3) 普及啓発募金活動

本部およびセンター近郊で地元根付いた啓発を行うため月 1 回以上の募金活動を実施する。また、小学校・中学校・スカウト隊・慈善団体等主催の募金活動についても協力参加する。

訓練犬のパブリック訓練と募金活動を兼ねるなど効率化を図る。

(4) 募金箱の設置

介助犬の認知度向上のため、新規設置店の拡大に取り組む。既に設置頂いている箇所に関しても継続的に設置頂ける様、取り組みを行っていく。特に医療機関への募金箱設置を重点項目に置く。

(5) PR犬の育成・訓練の実施

介助犬啓発活動に参加するPR犬の作業力維持、並びに広報部職員の技能向上のためのトレーニングを定期的実施する。訓練部と連携し、介助犬啓発活動に参加する新規PR犬を含めたPR犬の育成・訓練のため PR 犬ミーティングを定期的に行う。

(6) ボランティアの確保

介助犬訓練・啓発に係るボランティアの確保を行う。年 4 回の交流会を実施する。

街頭募金活動時等に犬のハンドリングが出来るボランティアの育成を行う。

(7) 賛助会員の新規入会促進と継続支援者の確保

会報やイベントを通して会員とのコミュニケーションを図る。法人会員については、定期的に訪問する。また、本部を中心に企業への積極的なアプローチを行い、支援企業を開拓する。ホームページの全面リニューアルによる会員促進を図る。

(8) 『ほじょ犬の日』5月22日(月)に向け、普及啓発イベント・講演会において積極的にPR活動を行う。

8. 広報活動

介助犬、補助犬、身体障害者補助犬法などについて、介助犬希望者・個人支援者・支援団体企業等、対象者別に必要な情報提供に努める。

(1) マスコミ対応

新聞やテレビ番組などのメディアに迅速に対応するため、最新の映像制作や写真撮影を行い提供していく。

(2) 広報物の作成

リーフレット・ポスター等広報物を作成し広く配布・掲示する。各企業の広報紙、機関誌などへ提供する写真の種類充実を図る。シンシアの丘紹介動画を見学会他で活用すると共に、インターネット上に公開する。

(3) 会報・ホームページの制作

会報委員会を設置し魅力ある紙面づくりに取り組み、年 4 回各 4700 部発行する。

ホームページ委員会を設置し全面リニューアルを行う。

(4) ツイッター・フェイスブック・インスタグラム等の SNS やソーシャルグッドの活用

ツイッター・フェイスブック・インスタグラム等の情報発信の充実を図る。また、社会貢献活動を支援・促進する取組みをインターネット上で展開する「ソーシャルグッド」を活用し、新たな支援者獲得を目指す。

(5) リハビリテーション専門関連学会、獣医療関連学会へのブース出展等

介助犬適応者に対する処方や紹介が出来るリハ専門職への理解を深め、希望者・利用者へのリハ支援の連携に不可欠である専門職への理解を深めるためにブース出展、デモンストレーション等の機会を得る。

【2017 年度学会一覧】

2017 年 1 月 18 日現在

学会名	日程	開催地
日本理学療法学会	2017 年 5 月 12 日(金)～5 月 14 日(日)	幕張メッセ国際会議場(千葉県)
日本リハビリテーション医学会学術集会	2017 年 6 月 8 日(木)～10 日(土)	岡山コンベンションセンター(岡山県)
日本作業療法学会	2017 年 9 月 22 日(金)～24 日(日)	東京国際フォーラム(東京都)
日本義肢装具学会	2017 年 10 月 8 日(土)、9 日(日)	TFT ビル(江東区有明)
第 1 回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会	2017 年 10 月 28 日(土)、29 日(日)	大阪国際会議場(大阪)
日本身体障害者補助犬学会	2017 年 10 月 28 日(土)、29 日(日)	新潟県長岡市
日本血液事業学会	2017 年 10 月 31 日(火)～11 月 2 日(木)	福岡国際会議場(福岡)
日本脊髄障害医学会	2017 年 11 月 16 日(木)～17 日(金)	三井ガーデンホテル千葉(千葉)
日本臨床獣医学フォーラム	2017 年 9 月 16 日(土)～17 日(日)	ホテルニューオータニ(東京都)
第 20 回日本福祉のまちづくり学会全国大会	2017 年 8 月 9 日(水)～11 日(木)	日本福祉大学東海キャンパス(愛知)

(6) スポーツとのコラボレーション

巨人軍菅野投手、名古屋グランパス、名古屋オーシャンズとのコラボレーションによる介助犬認知度向上および支援者獲得に取り組む。

(7) リニモ駅長の育成

リニモ駅長交代式と四代目駅長を育成する。

9. 補助・助成申請

(1) 平成 29 年度事業

助成決定事業

① 全国生活協同組合連合会:200 万円

全国労働者共済生活協同組合連合会:100 万円

申請事業:障害者の自立と円滑な社会参加を目指しての介助犬普及・啓発活動
～医療機関での補助犬受入れ状況実態調査を通じての情報提供～

② 毎日新聞大阪社会事業団(シンシア基金):30 万円

申請事業:介助犬トレーナー養成・研修生教育プログラム

申請中事業

① 公益財団法人 JKA:230 万円

申請事業:介助犬希望者・使用者送迎のための福祉車両更改事業

② 公益財団法人 洲崎福祉財団:200 万円

申請事業:動物介在活動および動物介在療法を目的とした犬の導入費用

申請予定事業

① 在日米国商工会議所:40 万円

申請事業:海外補助犬団体とのネットワーク構築のための海外渡航費・犬導入費用

② 愛知県:10 万円

申請事業:愛知県内における介助犬啓発事業

③ 長久手市:30 万円

申請事業:介助犬広報啓発事業

(2)平成 30 年度事業

- ・介助犬総合訓練センターの施設改修や機器整備(PC)の為の申請
- ・海外補助犬団体とのネットワーク構築のための渡航費用や候補犬導入費用の申請
- ・リハビリテーション専門職向けセミナーおよび体験会・体験入所開催のための費用申請

10. 総務管理・運営

(1) 寄付収入および賛助会員数増加施策の検討・実施

安定した事業運営基盤の確立に向け、寄付収入および賛助会員数増加のためのファンドレイジング施策を検討、実施する。

(2) 新データベースシステムの導入

会員・支援者、ボランティア等の情報をデータベースにて一元化し、支援者との関係を強化・深化する。

(3) ICT(情報通信技術)の整備・更新

協会内の情報通信インフラ(ファイルサーバー、セキュリティシステム)の更新を実施し、セキュリティ強化を行う。

(4) 社会福祉法等改正への対応

社会福祉法等改正に対応し、新定款に則った評議員会・理事会の開催、定款施行細則の改訂、財務諸表等開示電子システムへの対応等を行う。

(5) 計画的な施設等を営繕

介助犬総合訓練センターおよび保有車両等について、最適な保守・営繕を行う。